



# 高輪だより

令和元年度9月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

「2学期の充実に向けて」

高輪幼稚園長 柿沼 敦子

今年の7月は雨が続き、プール遊びができない日々が続きました。7月の下旬から一転「夏空」となり、猛暑日が続きました。高輪幼稚園の各ご家庭の夏休みはいかがでしたでしょうか。日常から離れてゆったりとのんびりとご家族で過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。おなじみのチョコちゃんには、「ボーっと生きてる」と叱られてしまいますが、「ボーっとする」ことも大事だそうです。かつては、「ボーっとしている」と、脳は休んでいると考えられていました。しかし実際には普段脳を使っている人は、むしろより活発に活動していて、脳を活発化させる上で適度に「ボーっとする」ことが大切だということが科学的にも証明されているそうです。「ボーっとしている」状態では、脳は次の工程にいつ進んでもいいように情報整理をしていて、何か集中的な作業をするためにはこの時間は必要であり、脳に良いということが言えるそうです。とはいっても子どもたちは「ボーっとしたい」大人と違い、夏休み中もエネルギッシュに体や頭を動かして遊んだことでしょう。家族と一緒に時間が長い夏休みの中で子どもたちは、家族という安らぎをよりどころとして様々な経験を学びとしたことでしょう。心も体も大きく成長し2学期にその成果を十分に発揮することと思います。

私たち職員は、自己の専門性を高めるため、夏休みはじっくり研修に参加しました。普段できない園内倉庫や絵本の整理・整頓を行ない、各保育室のワックスがけや各保育室の窓枠などの塗装を行ないました。保育環境を整え、子どもたちが幼稚園に戻ってくることを待っていました。2学期は、運動会、遠足、地域探検活動、高輪タイムなど行事が充実します。子どもたちが伸び伸びと力を発揮できますよう、保護者の皆様、地域の皆様、引き続きご協力をお願いいたします。



不審者対応訓練



園内環境整備  
ワックス、ペンキ塗装

